

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2009年7月6日~7月10日)

発表日: 2009年7月3日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 日本経済短期チーム  
TEL: 03-5221-4528

## (7月6日~7月10日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
7月6日 (月)	14:00 5月景気動向指数 CI一致指数(前月差)	+0.7pt	+0.8pt	+0.7pt~+0.9pt	+1.2pt
	CI先行指数(前月差)	+0.9pt	+0.8pt	+0.3pt~+0.9pt	+0.7pt
7月7日 (火)					
7月8日 (水)	8:50 5月機械受注 船舶除く民需 (前月比)	+4.0%	+2.4%	▲5.0%~+6.0%	▲5.4%
	(前年比)	▲33.9%	▲34.4%	▲39.8%~▲32.6%	▲32.8%
	8:50 6月マネーストック M2(前年比)	+2.7%	+2.7%	+2.3%~+2.7%	+2.7%
	M3(前年比)	+1.8%	+1.8%	+1.7%~+1.9%	+1.8%
	広義流動性(前年比)	+0.1%	+0.1%	▲0.1%~+0.2%	+0.1%
	8:50 6月貸出・資金吸収動向 国内銀行貸出残高(調整後前年比)	—	—	—	+3.9%
	8:50 5月国際収支 経常黒字(前年比)	▲35.2%	—	—	▲54.5%
(原数値)	12,830 億円	15,033 億円	10,580 億円~17,869 億円	6,305 億円	
14:00 6月景気ウォッチャー調査 現状判断 DI		—	—	—	36.7
	先行き判断 DI	—	—	—	43.3
7月9日 (木)					
7月10日 (金)	8:50 6月企業物価指数 (前月比)	0.0%	▲0.1%	▲0.3%~+0.3%	▲0.4%
	(前年比)	▲6.3%	▲6.4%	▲6.6%~▲5.6%	▲5.4%
	13:30 5月特定サービス産業動態統計	—	—	—	—

(注) 市場予測はBloomberg、日経quick調査をベースに作成

### 【重要指標の当社予測とコメント】

**5月景気動向指数 CI一致指数/CI先行指数(前月差)** 当社予想: 前月差 +0.7pt/+0.9pt 中央値: 同 +0.8pt/+0.8pt

一致CIは2ヶ月連続、先行CIは3ヶ月連続の上昇を予想する。在庫調整の進展や輸出の増加等を背景として景気が回復に向かっていることが示されると考えられる。当面、輸出・生産の回復が続く可能性が高いことを踏まえると、一致CIは09年3月をボトムとして上昇局面に転じたとみて良いだろう。

5月分の一致CIの構成系列をみると、投資財出荷や有効求人倍率、商業販売額など、雇用・消費関連や設備投資関連指標が冴えない一方で、鉱工業生産、生産財出荷、大口電力使用量、製造業所定外労働時間など、生産関連指標のプラス寄与が大きい。(主任エコノミスト: 新家 義貴)

**5月機械受注・船舶電力除く民需(前月比)** 当社予想: 前月比 +4.0% 中央値: 同 +2.4%

5月の機械受注(船舶・電力除く民需)は、前月比+4.0%と3ヵ月ぶりの増加を予想する。5月の関連統計みると、工作機械受注(内需)は前年比▲77.6%と前月(同▲77.5%)から幾分減少率が拡大した一方、半導体製造装置受注高は前年比▲64.7%と前月(同▲67.5%)から減少率が縮小している。足元では輸出や生産が持ち直すなど、企業部門で明るい材料が出ており、機械受注の減少テンポは大幅に緩和している。仮に予測通りとなれば、4-6月期の内閣府見通し(前期比▲5.0%)は、達成可能な範囲内となるだろう。

(副主任エコノミスト: 齋藤 俊輔)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

**5月国際収支・経常黒字（原数値） 当社予想：1兆2830億円 中央値：1兆5033億円**

5月の経常黒字額は12,830億円(前年比▲35.2%)と予想する。既に発表された貿易統計では、世界的な在庫調整の進展などにより、輸出の持ち直しが続いていることで、貿易収支は4ヶ月連続の黒字となり、黒字幅も前月から拡大した。一方、サービス収支に関しては、円高の持続や新型インフルエンザ拡大の影響などにより、訪日外客数が減少した。このため、旅行収支の受取が減少することが見込まれ、赤字幅が拡大すると予想される。所得収支についても、日本版本国投資法の成立を受けて、直接投資収益は増加することが見込まれるが、海外子会社の収益悪化や金利の低下などにより、証券投資の黒字幅減少が続くと思われる。証券投資収益は弱含んでいるものの、輸出持ち直しにより貿易収支が改善することで、経常黒字額も緩やかに増加していくであろう。(エコノミスト：小杉 晃子)

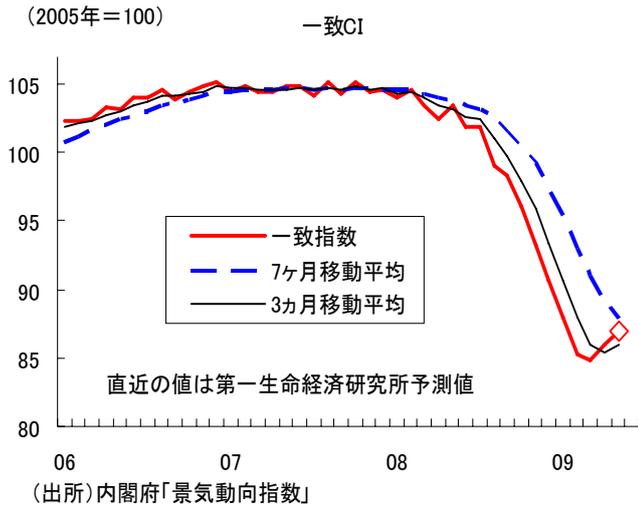
**6月企業物価指数・国内企業物価（前年比） 当社予想：前年比 ▲6.3% 中央値：同 ▲6.4%**

6月の国内企業物価は前月比0.0%、前年比▲6.3%を予想する。景気回復期待を受けて原油、非鉄金属の先物価格が上昇していたことから、石油石炭製品や非鉄金属で前月比プラスが見込まれる一方で、原材料価格の下落や需給ギャップの拡大に伴う物価下落圧力の強まりなどを背景として、加工食品や鉄鋼、輸送用機器、電力・都市ガス・水道など多くの品目で前月比マイナスとなると予想する。

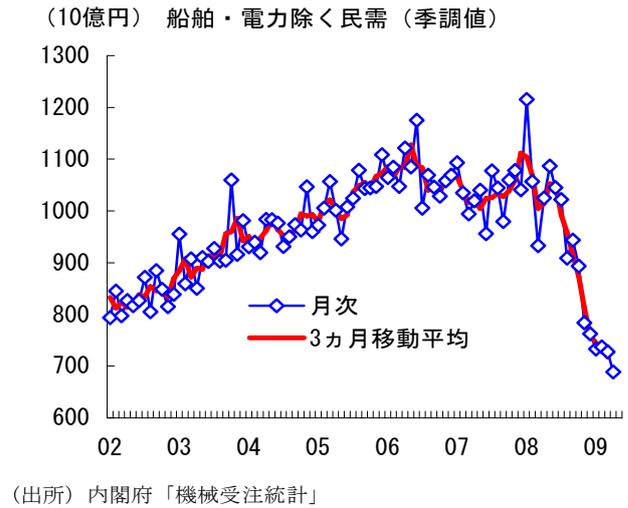
先行きについては、08年に原油価格高騰によって急上昇していた裏が出ることから、国内企業物価は夏場にかけてマイナス幅を大きく拡大していく見込みである。ただし、原油、非鉄金属価格は足元で上昇基調にあることから、昨年裏の影響が一巡する秋以降には、国内企業物価はマイナス幅を縮小させていく可能性が高い。(エコノミスト：中本 泰輔)

以上

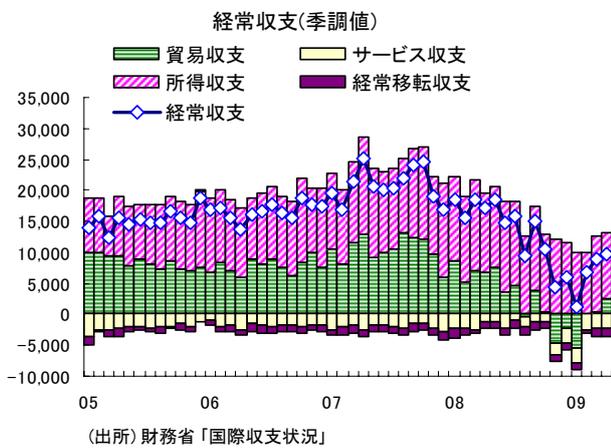
図表 1



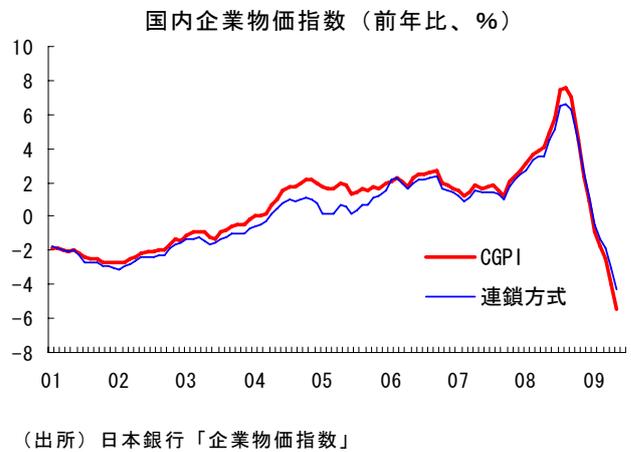
図表 2



図表 3



図表 4



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

7月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
6/29 5月商業販売統計(8:50) 5月鉱工業指数(8:50)  (米)6月ネット求人広告指数	30 5月労働力調査(8:30) 5月一般職業紹介状況(8:30) 5月家計調査(8:30) 5月毎月勤労統計(10:30) 5月住宅着工統計(14:00)  (米)6月シカゴPMI (米)6月CB消費者信頼感指数 (欧)6月消費者物価(速) (英)1-3月期GDP(確) (トルコ)1-3月期GDP	7/1 6月日銀短観(8:50) 6月自動車販売(14:00) 6月軽自動車販売(14:00) 平成21年路線価  (米)6月ISM製造業指数 (米)5月中古住宅販売保留 (米)5月建設支出 (米)6月自動車販売 (欧)6月製造業PMI(確)	2 6月短観業種別計数及び調査 全容(8:50) 6月マナタリベース(8:50) 10年利付国債  (米)6月雇用統計 (米)5月製造業受注 (欧)5月生産者物価 (欧)ECB理事会	3 5月家計消費状況調査(14:00)    (欧)6月サービス業PMI(確) (欧)5月小売売上高
6 5月景気動向指数(14:00)  (米)6月ISM非製造業指数	7 40年利付国債  (英)5月鉱工業生産 (独)5月製造業受注	8 5月機械受注統計(8:50) 6月マネーストック(8:50) 6月貸出・資金吸収(8:50) 5月国際収支(8:50) 6月景気ウォッチャー調査 (14:00)  (米)5月消費者信用残 (欧)1-3月期GDP(確) (独)5月鉱工業生産	9  (米)5月卸売在庫 (英)BOE金融政策決定会合 (独)6月消費者物価(確)	10 6月企業物価(8:50) 5月特定サービス産業動態統計調査(13:30)   (米)5月貿易収支 (米)6月輸入物価 (米)7月ミシガン大消費者センチメント(速) (仏)5月鉱工業生産
13 5月鉱工業指数・確(13:30) 6月消費動向調査(14:00)	14 6月投入・産出物価指数(8:50) 5月商業販売統計・確(13:30) 金融政策決定会合(～15日)  (米)6月生産者物価 (米)6月小売売上高 (米)5月企業在庫 (欧)5月鉱工業生産	15 日銀総裁定例記者会見 (15:30)  (米)7月NY連銀指数 (米)6月鉱工業生産 (欧)6月消費者物価(確)	16 7月ロイター短観(8:30) 5月第3次産業活動指数(8:50) 5月毎月勤労統計・確(10:30) 7月金融経済月報(14:00) 5年利付国債  (米)5月対米証券投資 (米)7月フィラ連銀指数 (米)7月NAHB住宅市場指数 (中国)4-6月期実質GDP	17 5月景気動向指数改訂(14:00) 5月建設総合統計(14:00) ※7月月例経済報告  (米)7月住宅着工件数 (米)7月建設許可件数 (欧)5月貿易収支
20 (米)6月景気先行指数	21 金融政策決定会合議事要旨(6月15,16日分)(8:50) 6月コンビニエンスストア統計(16:00)  ※(欧)7月製造業PMI(速) ※(欧)7月サービス業PMI(速)	22 7月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) ※6月チェーンストア販売統計(14:00) ※6月全国百貨店売上高(14:30) 山口日銀副総裁挨拶 20年利付国債  (米)5月FHFA住宅価格指数	23 ※6月貿易統計(8:50)  (米)6月中古住宅販売件数 (欧)5月経常収支 (英)6月小売売上高	24 5月全産業活動指数(13:30)   (米)7月ミシガン大消費者センチメント(確) (英)4-6月期GDP(速) ※(独)7月Ifo景況感指数
27 6月企業向けサービス価格指数(8:50)  (米)6月新築住宅販売件数	28 (米)7月CB消費者信頼感指数	29 6月商業販売統計(8:50)  (米)ベージュブック (米)6月耐久財受注 (独)7月消費者物価(速)	30 6月鉱工業指数(8:50) 2年利付国債	31 6月消費者物価・全(8:30) 7月消費者物価・都(8:30) 6月労働力調査(8:30) 6月一般職業紹介状況(8:30) 6月家計調査(8:30) 6月住宅着工統計(14:00)  (米)4-6月期GDP(速) (米)7月シカゴPMI (欧)7月消費者物価(速)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

8月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8/3 6月毎月勤労統計(10:30) 7月自動車販売(14:00) 7月軽自動車販売(14:00)  (米)7月ISM製造業指数 (米)6月建設支出 (米)7月自動車販売 (米)7月ネット求人広告指数 (欧)7月製造業PMI(確)	4 7月マネタリーベース(8:50) 6月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債  (米)7月個人所得・消費 (米)6月中古住宅販売保留 (欧)6月生産者物価 (ニュージーランド)金融政策委員会	5 (米)7月ISM非製造業指数 (米)6月製造業受注 (欧)7月サービス業PMI(確) (欧)6月小売売上高 (インドネシア)金融政策委員会	6 6月景気動向指数(14:00) 30年利付国債  (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 (独)6月製造業受注	7 6月特定サービス産業動態統計調査(13:30)  (米)7月雇用統計 (米)6月消費者信用残高 (伊)4-6月期実質GDP(速) (独)6月鉱工業生産
10 6月機械受注統計(8:50) 6月国際収支(8:50) 7月マネーストック(8:50) 7月貸出・資金吸収(8:50) 7月景気ウォッチャー調査 金融政策決定会合(～11日)  (仏)6月鉱工業生産	11 7月消費動向調査(14:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30)  (独)7月消費者物価(速) (韓)金融政策委員会	12 7月企業物価(8:50) 6月商業販売統計・確(13:30) 6月鉱工業指数・確(13:30) 8月金融経済月報(14:00)  (米)6月貿易収支 (米)7月財政収支 (米)FOMC (欧)6月鉱工業生産 (仏)7月消費者物価 ※(インドネシア)4-6月実質GDP	13 (米)7月輸入物価 (米)7月小売売上高 (米)6月企業在庫 (欧)4-6月期実質GDP(速) (欧)4-6月期実質GDP(速) (仏)4-6月期実質GDP(速) (南ア)金融政策委員会	14 8月ロイター短観(8:30) 金融政策決定会合議事要旨(7月14,15日分)(8:50) 6月第3次産業活動指数(8:50) 7月投入・産出物価指数(8:50)  (米)7月消費者物価 (米)7月鉱工業生産 (米)8月ミシガン大消費者センチ(速) (欧)7月消費者物価(確) (香)4-6月期実質GDP
17 4-6月期GDP1次速報(8:50) 6月毎月勤労統計・確(10:30) 6月建設総合統計(14:00)  (米)8月NY連銀指数 (米)6月対米証券投資 (米)8月NAHB住宅市場指数 (欧)6月貿易収支	18 6月景気動向指数改訂(14:00) ※8月月例経済報告 5年利付国債  (米)7月生産者物価 (米)7月住宅着工件数 (米)7月建設許可件数 (シンガポール)4-6月期実質GDP (南ア)4-6月期実質GDP	19 6月全産業活動指数(13:30)  (欧)6月経常収支 (トルコ)金融政策委員会	20 7月コンビニエンスストア統計(16:00)  (米)7月景気先行指数 (米)8月フィラ連銀指数 (フィリピン)金融政策委員会	21 (米)7月中古住宅販売件数 ※(欧)8月製造業PMI(速) ※(欧)8月サービス業PMI(速) (メキシコ)金融政策委員会
24 ※7月チェーンストア販売統計(14:00) ※7月全国百貨店売上高(14:30)  (欧)6月鉱工業新規受注 ※(独)8月Ifo景況感指数	25 20年利付国債  (米)8月CB消費者信頼感 (米)6月FHFA住宅価格指数 (独)4-6月期実質GDP(確) (マレーシア)金融政策委員会	26 7月企業向けサービス価格指数(8:50) ※7月貿易統計(8:50)  (米)7月耐久財受注 (米)7月新築住宅販売件数 (タイ)金融政策委員会 (メキシコ)4-6月期実質GDP	27 2年利付国債  (米)4-6月期実質GDP(改) (独)8月消費者物価(速) (フィリピン)4-6月期実質GDP	28 7月消費者物価・全(8:30) 8月消費者物価・都(8:30) 7月労働力調査(8:30) 7月家計調査(8:30) 7月一般職業紹介状況(8:30)  (米)7月個人所得・消費 (米)8月ミシガン大消費者センチ(確) (英)4-6月期実質GDP(速) (台)4-6月期実質GDP
31 7月鉱工業指数(8:50) 7月商業販売統計(8:50) 7月毎月勤労統計(10:30) 7月住宅着工統計(14:00)  (米)8月シカゴPMI (米)8月ネット求人広告指数 (欧)8月消費者物価(速)	9/1 8月自動車販売(14:00) 8月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債  (米)8月ISM製造業指数 (米)7月中古住宅販売保留 (米)7月建設支出 (米)8月自動車販売 (欧)8月製造業PMI(速) (ニュージーランド)金融政策委員会	2 8月マネタリーベース(8:50)  (米)7月製造業受注 (欧)4-6月期実質GDP(改) (欧)7月生産者物価 (ニュージーランド)4-6月期実質GDP	3 (米)8月ISM非製造業指数 (欧)ECB理事会 (欧)8月サービス業PMI(確) (欧)7月小売売上高  (インドネシア)金融政策委員会 (ブラジル)金融政策委員会	4 4-6月期法人企業統計(8:50) 7月家計消費状況調査(14:00)  (米)8月雇用統計

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。